

かわなべ

津山市立
河辺小学校

運動会
特集号

百五十周年にふさわしい

歴史に残る運動会にしよう

エイエイオー!

これは、子ども達が決めた運動会のスローガンです。今年のテーマは、何と言っても百五十周年です。記念の年の運動会になるように、いろいろなところに工夫をこらしてきました。その一つが、みなさんと一緒に楽しむ交流種目です。玉入れと綱引きの二種目を設定しましたので、ぜひともご参加ください。さて、この夏の猛暑が長引き、練習は暑さとの戦いでした。練習を取りやめたり短くしたりと、例年のような練習時間が十分に取れず、どの学年も苦勞しました。それでも、限られた時間の中で、子どもたちは熱心に練習を重ねてきました。本番では、今できることを、精一杯出し切るよう演技いたします。みなさまの温かいご声援をよろしくお願いします。



観客席を自由席に 優先席も拡大

今回、早朝から席取りをされなくてもよいように、観客席を町別ではなく、「自由席」にしました。また、演技するお子さんの学年を前から観覧できる「優先席」の幅を広げました。みなさんで譲り合って、近くから子どもたちを応援していただきたいと思っています。

☆各学年・応援の見どころは コシだ!☆

○1年生

1年生が楽しみにしてきた運動会。表現「レッツダンス！ツバメ」は、2年生と一緒に踊ってとても上手になりました。「きらきらリレー」では、バトンをとさないように、チームワークでがんばります。「チェッコリ玉入れ」では、1年生の玉入れの後、保護者や地域のみなさんにも参加していただき、一緒に楽しめます。ふるってご参加ください。



みんな全力で応援します。おもしろい「エビポーズ」や「カニポーズ」があるので、楽しみにしてください。みんなで一生けん命頑張るので、応援してください。

赤組団長 八木 悠斗君

○2年生

2回目の運動会となった2年生。「力を合わせて」では、二人一組で息を合わせて、デカパンをはいて走ります。「わくわくりレー」では、初めて棒のバトンを使います。バトンをとさないように、「ハイ！」と相手に聞こえる声を出して渡す練習をしました。「レッツダンス！ツバメ」は、指先や目線に気をつけて踊ります。応援をよろしくお願いいたします。

白組は、みんなしっかり声が出ています。白組の元気な声で優勝をつかみます。そして、勝利の旗を持って帰ります。150周年記念に白組の名を刻もう。

白組団長 小林 蓮叶君

○3年生

トラックを使うリレーは、初挑戦です。長い1周のトラックを一生懸命走ります。バトンパスは、「動いてもらう」ことを意識して練習をしました。頑張っている姿を見て、ご声援をお願いします。「河辺ハリケーン2024」では、3人で1本の棒を持って走ります。チームワークで乗り切ります。表現では、「エイサー」を踊ります。太鼓を鳴らしながらのびのび踊る姿をご期待ください

今、全力で応援練習をしています。青組の紹介したいところは、元気のよいところです。ほとんどの人が大きな声で元気よくできています。本番でも頑張ります。

青組団長 濱田 健太君

黄組の応援は、いろいろなふりつけを加えて、とても面白くなっています。1・2・3年生が、特に大きな声が出ています。どの競技も、最後まであきらめずに全力をつくします。

黄組団長 高尾 洋斗君

○4年生

今年の4年生は元気いっぱいです。その元気を活かして、「続・河辺オリンピック」では、いろんな競技をします。金メダルを手にするのはどの色でしょうか。「つなげ！聖火」では、運動会のスタートとして、リレーを走ります。運動会を盛り上げるために力いっぱい走ります。「河辺んちゆめ宝」では、初めてのエイサーに挑戦します。心を一つに太鼓の音色を合わせて頑張ります。4年生の元気を肌で感じてください。

○5年生

5年生は、チームワークを大切に練習に励んできました。リレーの順番を何度も相談したり、むかで競争の足並みがそろうように声かけをしたりしました。初めてのソーラン節では、ダイナミックな動きになるように、手の動かし方、腰の落とし方に気をつけながら練習しました。みんなの心を一つにして頑張ります。応援をよろしくお願いいたします。

○6年生

6年生は小学校生活最後の運動会です。リレー「ザ・ファイナル」では、最高学年らしいスムーズなバトンパスと、全力の走りでゴールを目指します。「綱引き～心を一つに～」では、各色自分たちのかけ声を決めて、力いっぱい引き合います。「河辺ソーラン150-」は、踊りにさらに磨きをかけ、大きなかけ声で迫力満点に踊ります。応援をお願いします。